サーキットデザイン社製テレコントロールエンジンスターター用

車種別取付資料

平成２９年　７月　７日　作成
令和　６年　４月１１日　更新

BOX No. 670452

車両情報				
	ダイハツ　ミラ イース	平成２９年５月～令和２年１２月	ＬＡ３５♯／ＬＡ３６♯系	
	トヨタ　ピクシス エポック	平成２９年５月～令和２年１２月	ＬＡ３５♯／ＬＡ３６♯系	１／４ページ
	スバル　プレオ プラス	平成２９年５月～令和２年１２月	ＬＡ３５♯／ＬＡ３６♯系	
	❗プッシュスタートシステム付き車			

◎カバー類の取り外しは、必ずこのページの手順のとおりに行ってください。

重要！ ❗各配線の取り付けについては、２／４～４／４ページをご覧ください。

◎作業前に必ず車両のバッテリー（マイナス端子）を外し、３分間放置してください。

- ●バッテリーを接続したままの状態で、ヒューズブロック裏側のカプラの抜き差しを行うと、ＥＣＵが故障する恐れがあります。必ずバッテリー（マイナス端子）を外し、３分間放置してから作業を行ってください。
- ●バッテリー（マイナス端子）の接続は、必ず全ての接続作業が完了した後で行ってください。

❗注意事項

- ・取り付けできるエンジンスターターは、プッシュスタート専用モデルのＮＥＸＴ ＬＩＧＨＴ-２Ｂ(商品コード：ＥＳＬ５５)のみです。
- ・専用ハーネスキット(商品コード：Ａ２０２Ｋ)を使用します。
- ・取り付け後は、初期設定が必要になります。(２／４ページ左下に記載)
- ・エンジンスターターにてエンジン始動の際は、必ずリモコンと電子キーを付属のキーリングに取り付けして使用してください。
- ・３㎝以上離してリモコンを操作すると、エンジンは始動しません。

❗注意事項

エンジンスターターのリモコンと電子キーは、必ず付属のキーホルダーに取り付けしておいてください。

重要！

シリアル No. ＢＲ０００７００１以降の製品を必ず使用してください。
シリアル No. ＢＲ０００７０００以前の製品はエンジンスターターにて、エンジンが始動しません。

❗カバー類の取り外し方（運転席側）

①右サイドステップカバーを外す。
②右サイドカバーを外す。

❗カバー類の取り外し方（助手席側）

①グローブボックスを外す。
②アンダーカバーを外す。

止めネジ等

ナット　ビス　隠れネジ

❗この資料は、当社に於いて見取りを実施した車両をもとに作成してあります。年式、グレード等によって違いが生じる場合がありますのでご注意ください。

CIRCUIT DESIGN, INC.

サーキットデザイン社製テレコントロールエンジンスターター用

車種別取付資料

平成２９年　７月　７日　作成
令和　６年　４月１１日　更新

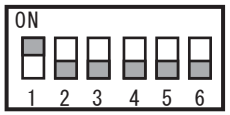
BOX No. 670452

車両情報				
	ダイハツ　ミラ イース	平成２９年５月～令和２年１２月	ＬＡ３５♯／ＬＡ３６♯系	
	トヨタ　ピクシス エポック	平成２９年５月～令和２年１２月	ＬＡ３５♯／ＬＡ３６♯系	２／４ページ
	スバル　プレオ プラス	平成２９年５月～令和２年１２月	ＬＡ３５♯／ＬＡ３６♯系	
	❗プッシュスタートシステム付き車			

重要！

必ず、ハーネスを接続する前にＤＩＰ-ＳＷをセットしてください。
ハーネス接続してから、ＤＩＰ-ＳＷをセットしても設定されません。間違えた場合はハーネス接続を一旦外してください。

ＤＩＰ－ＳＷ

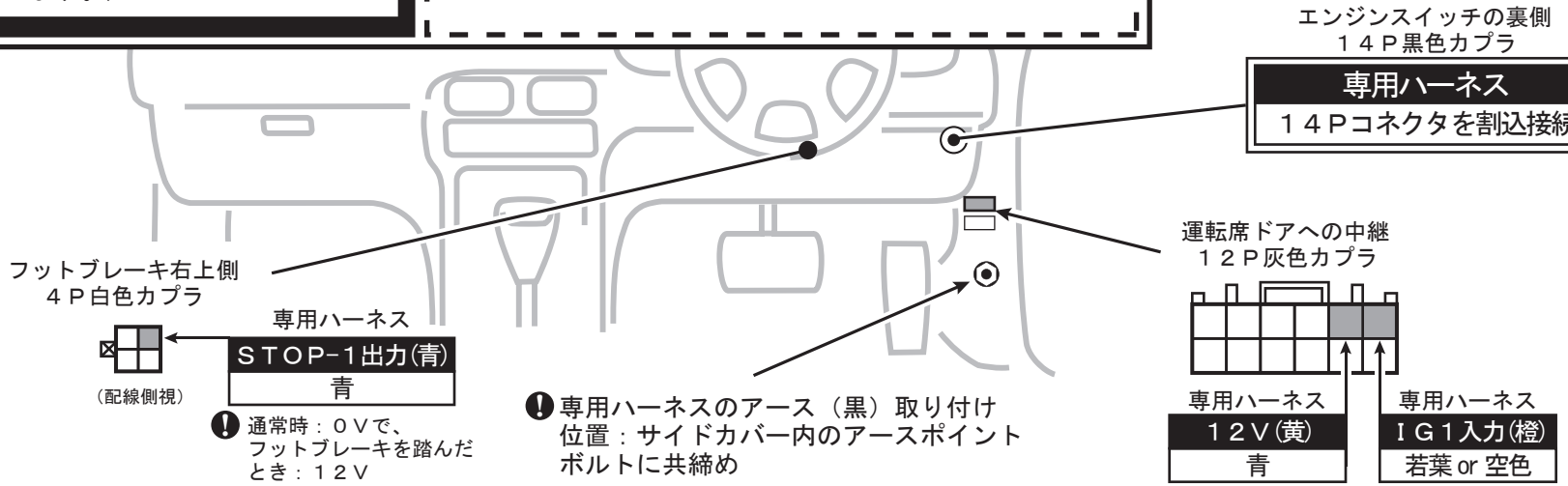


リレーユニットのＤＩＰ－ＳＷは、１番のみＯＮにセットしてください。他のスイッチはＯＦＦのまま。（出荷時は、全てＯＦＦにセットされています。）

❗ＤＩＰ-ＳＷ設定状態のブザー音

配線セルフチェック、またはＤＩＰ-ＳＷ設定状態の確認（取扱・取付説明書を参照）で、ＤＩＰ-ＳＷの１番から順番に６番までの設定状態を、ゆっくり発音します。

１番 →	２番 →	３番 →	４番 →	５番 →	６番
ピピーッ	ブブッ	ブブッ	ブブッ	ブブッ	ブブッ



初期設定

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。
①車両のイグニッションをONにする。
②リモコンでSTOPを押す。
③車両のブレーキを踏み、リレーユニットのアラーム音が変わった後(約３秒後)ブレーキを放す。
④車両のイグニッションをOFFにする。
⑤設定完了
※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(専用ﾊｰﾈｽの配線色)
車両配線色

専用ハーネス
Ａ２０２Ｓ

❗取り付け方法

※リレーユニットのＣＮ１コネクタを接続する前に、必ずＤＩＰ－ＳＷを指定されたポジションに設定してください。
①専用ハーネスの１４Ｐ中継コネクタを、エンジンスイッチ裏側のカプラに割込接続する。
②専用ハーネスの各配線、青色・黄色・橙色（本ページ参照）を桃色エレクトロタップを使用して指定の場所に接続する。（あらかじめ接続先の配線は、テスターで電圧を確認して、確実に接続してください）
③専用ハーネスの６Ｐ白色コネクタから出ている各配線、桃色・紫色・青色（３／４ページ参照）を、白色エレクトロタップを使用して指定の場所に接続する。
④専用ハーネスの６Ｐ白色コネクタへＬＦ変換ユニット（黒色収縮チューブ加工されたユニット）を接続する。
⑤アース（黒色）を指定位置に固定する。
⑥１２ＰコネクタをリレーユニットのＣＮ１に接続する。

❗この資料は、当社に於いて見取りを実施した車両をもとに作成してあります。年式、グレード等によって違いが生じる場合がありますのでご注意ください。

CIRCUIT DESIGN, INC.

サーキットデザイン社製テレコントロールエンジンスターター用

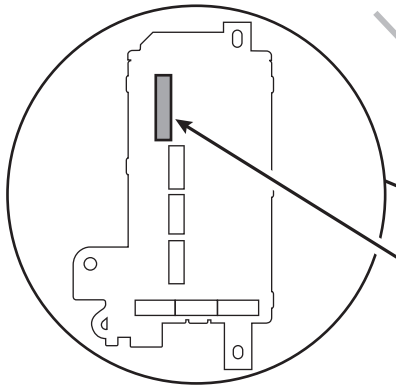
車種別取付資料

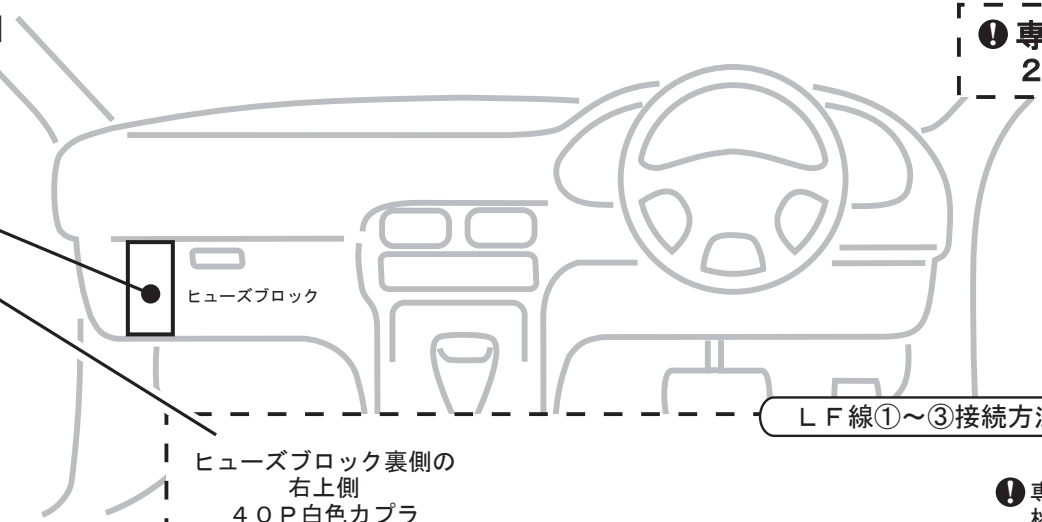
平成２９年　７月　７日　作成
令和　６年　４月１１日　更新

BOX No. 670452

車両情報				
	ダイハツ　ミラ イース	平成２９年５月～令和２年１２月	ＬＡ３５♯／ＬＡ３６♯系	
	トヨタ　ピクシス エポック	平成２９年５月～令和２年１２月	ＬＡ３５♯／ＬＡ３６♯系	３／４ページ
	スバル　プレオ プラス	平成２９年５月～令和２年１２月	ＬＡ３５♯／ＬＡ３６♯系	
	❗プッシュスタートシステム付き車			

ヒューズブロック裏拡大図



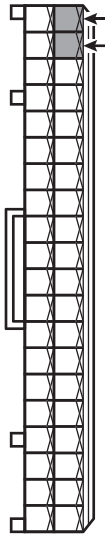


❗専用ハーネスの取り付け方法は、本ページと２／４ページを参照してください。

❗ＣＮ２ハーネスの各配線の取り付けは４／４ページを参照してください。

ＬＦ線①～③接続方法

ヒューズブロック裏側の
右上側
４０Ｐ白色カプラ



専用ハーネス
ＬＦ①(桃)
青
ＬＦ②(紫)
青

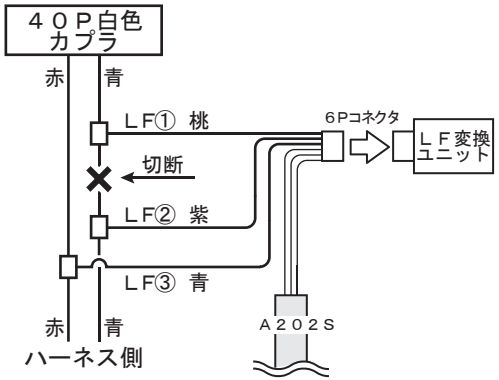
※逆側にも青色(同色)があるので注意！
必ず赤色線横の青色線に接続してください。

専用ハーネス
ＬＦ③(青)
赤

❗参照

（配線側視）

❗専用ハーネスＡ２０２Ｓの６Ｐ白色コネクタから出ている桃色と紫色配線は、車両側４０Ｐ白色カプラの青色線を切断して、白色エレクトロタップで接続します。
桃色と紫色配線は、接続先を逆にしないように注意すること。



❗接続後、エレクトロタップから青色配線がはみ出さないように処理して、絶縁テープを巻いてください。

初期設定

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。
①車両のイグニッションをONにする。
②リモコンでSTOPを押す。
③車両のブレーキを踏み、リレーユニットのアラーム音が変わった後(約３秒後)ブレーキを放す。
④車両のイグニッションをOFFにする。
⑤設定完了
※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(専用ﾊｰﾈｽの配線色)
車両配線色

❗この資料は、当社に於いて見取りを実施した車両をもとに作成してあります。年式、グレード等によって違いが生じる場合がありますのでご注意ください。

CIRCUIT DESIGN, INC.

サーキットデザイン社製テレコントロールエンジンスターター用

車種別取付資料

平成２９年　７月　７日　作成
令和　６年　４月１１日　更新

BOX No. 670452

車両情報				
	ダイハツ　ミラ イース	平成２９年５月～令和２年１２月	ＬＡ３５♯／ＬＡ３６♯系	
	トヨタ　ピクシス エポック	平成２９年５月～令和２年１２月	ＬＡ３５♯／ＬＡ３６♯系	４／４ページ
	スバル　プレオ プラス	平成２９年５月～令和２年１２月	ＬＡ３５♯／ＬＡ３６♯系	
	❗プッシュスタートシステム付き車			

❗特有の注意事項

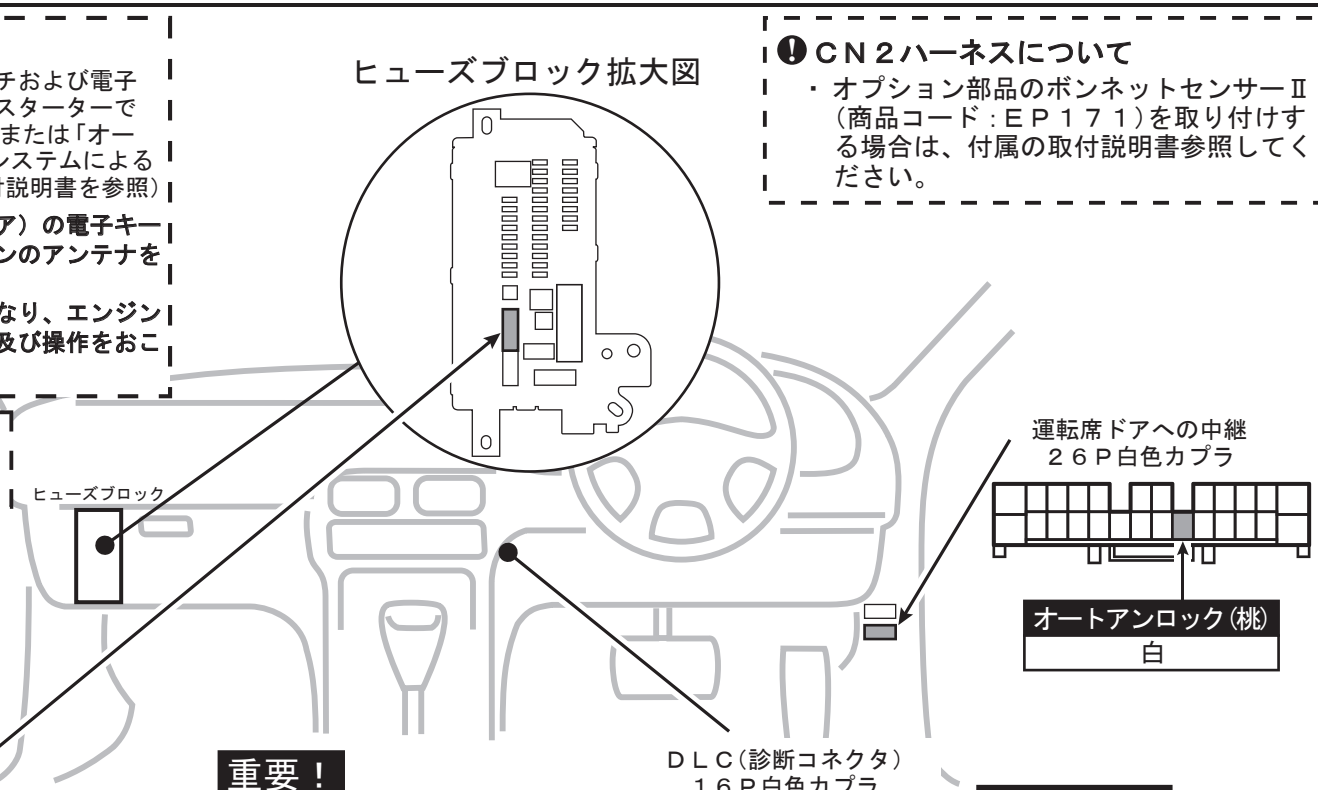
※エンジンスターターでアイドリング中は、車両のリクエストスイッチおよび電子キーの操作でのドアロック／アンロックは作動しません。エンジンスターターでアイドリングを行い車両へ乗り込む際は、「オートアンロック機能」または「オートエンジンストップ機能」を使用して、エンジン停止後に車両側のシステムによるアンロック動作を行い、ドアを開けることができます。（取扱・取付説明書を参照）

※エンジンスターターにてエンジンを始動する際は、必ず予備（スペア）の電子キーも含めて全て車室外に出し、車両から１０ｍ以上離れて必ずリモコンのアンテナを伸ばしてから始動操作をしてください。
車両の近傍で操作すると、電子キーの電波と干渉して認証エラーとなり、エンジンが始動しないことがあります。その際は、重要ページを参照し設定及び操作をおこなってください。

❗ＣＮ２ハーネスについて

・オプション部品のボンネットセンサーⅡ（商品コード：ＥＰ１７１）を取り付けする場合は、付属の取付説明書参照してください。

❗取り付け後の初期設定は、本ページの左下に記載した手順で、フットブレーキを使用して設定を行ってください。



初期設定

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。
①車両のイグニッションをONにする。
②リモコンでSTOPを押す。
③車両のブレーキを踏み、リレーユニットのアラーム音が変わった後（約３秒後）ブレーキを放す。
④車両のイグニッションをOFFにする。
⑤設定完了
※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容（ﾘﾚｰﾕﾆｯﾄＣＮ２線色）
車両配線色

重要！

❗全車「始動検出（茶）」を必ず接続してください。
接続しないと、エンジン始動検出ができません。

※配線を接続しないと、始動してもすぐにエンジンは停止します。
※接続先（上記）はＤＬＣ内のエンジン回転出力信号線です。

注意！：始動検出（茶）を接続の際は必ず付属してある、白色のエレクトロタップを使用してください。（車両側の配線が細いため）

❗この資料は、当社に於いて見取りを実施した車両をもとに作成してあります。年式、グレード等によって違いが生じる場合がありますのでご注意ください。

CIRCUIT DESIGN, INC.

必ずお読みください。

重要 リモコンによるエンジン始動操作時の注意事項及び、近距離動作モードについて

●下図に示す形状の電子キーの車種は、車両の近傍（目安としては車両の周囲から１０m以内のエリア）でリモコンによるエンジン始動操作を行うと車両の電子キーから出る電波がエンジンスターター側の電波と干渉するため、正常に電子キー認証ができずエンジンが始動しない場合があります。

車両の近傍でエンジンスターターを使用する頻度が高い場合は、右図に記載している近距離動作モードの設定手順により、近距離動作モードを「使用する」に設定し、下記の使用方法にてエンジンを始動してください。

～近距離動作モードの使用方法～

●**車両の近傍（車両に近く電波が干渉するエリア）でエンジン始動をする場合のみ**

①リモコンのアンテナを伸ばしてから「ＳＴＯＰ」操作を行い、アンサーバック（ブザー音ピロロッ↓とＬＥＤ表示：赤色に点灯）を確認する。

②続けて「ＳＴＡＲＴ」操作を行い、アンサーバック（ブザー音ピロロッ↑とＬＥＤ表示：緑色に点灯）を確認する。

③アンサーバックを確認後、リモコンのアンテナを収納する。

●**車両の近傍以外（電波が干渉しない場所）からエンジン始動をする場合**

①リモコンのアンテナを伸ばしてから「ＳＴＡＲＴ」操作を行い、通常の手順でエンジン始動を行う。

②アンサーバックを確認後、リモコンのアンテナを収納する。

～注意事項～

●近距離動作モードによるエンジン始動は、「ＳＴＯＰ」操作を行った後の「ＳＴＡＲＴ」操作１回のみ有効です。
２回目以降の「ＳＴＡＲＴ」操作は通常の始動となります。

●近距離動作モードによるエンジン始動時は、リモコンで「ＳＴＡＲＴ」操作後にリレーユニットからブザー音ピーピーが出ます。（通常の始動時のブザー音はピッです）

⚠ 該当車両の電子キー形状は、以下のとおりです。

近距離モード設定

●車両の近傍でエンジンを始動させる場合は、下記設定を行い近傍で始動させる場合のみ「STOP」操作のあとに「START」操作を行い、エンジンを始動させてください。
１０m以上離れたところから始動する場合は、「START」操作のみで始動させてください。

近距離モード使用する設定

1 車両のプッシュボタンを２回押して、イグニッションを「ON」にする

－－－受付時間 10 秒以内－－－

2 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピッ」
→ブザー：「ピーピーピー…」

－－－受付時間 10 秒以内－－－

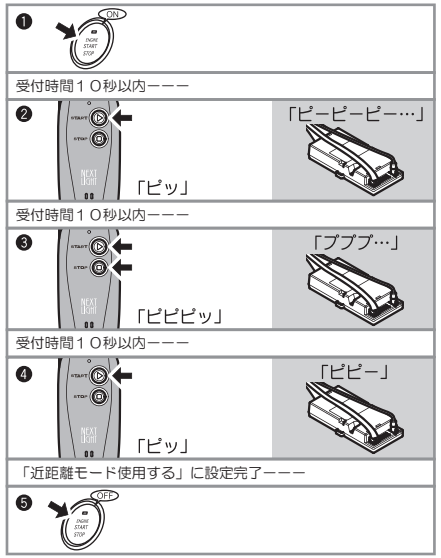
3 「START」「STOP」ボタンを同時に押す
→送信音：「ピピピッ」
→ブザー：「プププ…」

－－－受付時間 10 秒以内－－－

4 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピッ」
→ブザー：「ピピー」

－－－近距離モード設定完了－－－

5 車両のプッシュボタンを１回押して、イグニッションを「OFF」にする



近距離モード使用しない設定

1 車両のプッシュボタンを２回押して、イグニッションを「ON」にする

－－－受付時間 10 秒以内－－－

2 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピッ」
→ブザー：「ピーピーピー…」

－－－受付時間 10 秒以内－－－

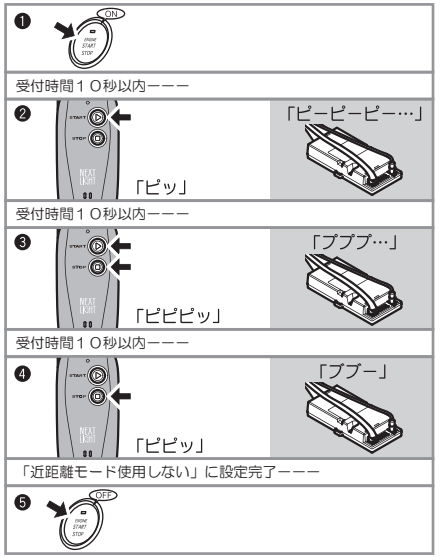
3 「START」「STOP」ボタンを同時に押す
→送信音：「ピピピッ」
→ブザー：「プププ…」

－－－受付時間 10 秒以内－－－

4 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ピピッ」
→ブザー：「ププー」

－－－近距離モード解除完了－－－

5 車両のプッシュボタンを１回押して、イグニッションを「OFF」にする



ＮＥＸＴ　ＬＩＧＨＴ　配線セルフチェック

ＥＳＬ５５

令和　１年　８月２８日

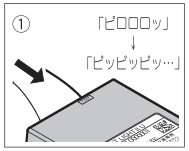
◎初期設定ができない場合や、動作チェックでエンジンが正常に始動しない場合のみ下記の要領にてセルフチェックを行ってください。

1 準備、共通の注意事項

リレーユニットのCN−1・CN−2コネクタをハーネスから外してからＤＩＰ−ＳＷを全て「ＯＦＦ」のポジションにセットしてください。

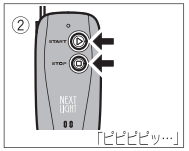
❗ 各手順で先に進めずブザー音「ブブー　ブブー」が継続した場合はリモコンで「ＳＴＯＰ」操作を行い、音が変化することを確認して、リレーユニットからコネクタを外してください。

2 １２Ｖ配線、ＧＮＤ線のチェック



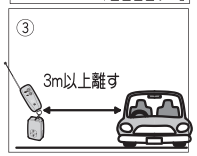
①専用ハーネスをリレーユニットに接続してください。
・ブザー音「ピロロロッ」または「ピピーッ」は出ますか？

ＹＥＳ：次のチェックへお進みください。
ＮＯ　：音が出ない場合は12V（黄色）配線、GND線を点検してください。

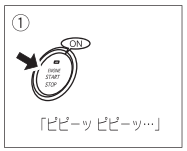


②リモコンで「START＆STOP同時押し」操作をしてください。
・ブザー音が「ピピピピッ　ピピピピッ（継続）」に変わります。

③リモコンと電子キーを車両から３ｍ以上離れた車室外へ出してください。



3 ＬＦ配線のチェック



①車両のプッシュボタンを１回押してください。
・ブザー音が「ピピーッ　ピピーッ」に変わりますか？

ＹＥＳ：次のチェックへお進みください。
ＮＯ　：音が変わらない場合はＬＦ配線（赤色）を点検してください。

4 ＳＴＯＰ−１出力配線のチェック

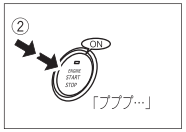
①車両のフットブレーキを踏んだままにしてください。
・ブザー音が「ピピピピ・・・（継続）」に変わりますか？

ＹＥＳ：フットブレーキを放し、次のチェックへお進みください。
ＮＯ　：音が変わらない場合はSTOP−１出力線を点検してください。

5 ＩＧ１入力配線のチェック

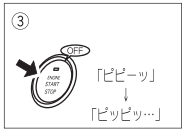
①リモコンと電子キーを車室内へ持ち込んでください。

②車両のプッシュボタンを２回押してＩＧ電源をＯＮにしてください。
・ブザー音が「ピピピ・・・（継続）」に変わりますか？



ＹＥＳ：ＩＧ電源をOFFにして、次のチェックへお進みください。
ＮＯ　：音が変わらない場合はＩＧ入力（橙色）配線を点検してください。

※車両側から運転席ドア開のアラーム音が出ている場合は、ドアを１回閉めてから開けると音が止まります。

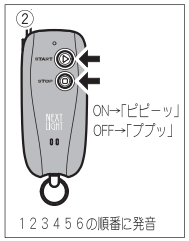


6 ＤＩＰ−ＳＷの設定とチェック

①ＤＩＰ−ＳＷを車種別取付資料で指定されたポジションにセットしてください。

②リモコンで「START＆STOP同時押し」操作をしてください。
・ブザー音でＤＩＰ−ＳＷの１番から６番までの設定状態をゆっくり発音します。「ＯＮ」の状態は「ピピ―ッ」、「ＯＦＦ」の状態は「ブブッ」と発音します。車種別取付資料に記載されている通りにブザー音が出ることを確認してください。

例：２番と５番がＯＮの場合
「ブブッ」「ピピーッ」「ブブッ」「ブブッ」「ピピ―ッ」「ブブッ」

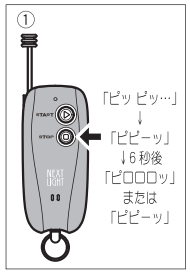


7 配線セルフチェック完了

①リモコンで「ＳＴＯＰ」操作をしてください。
ブザー音「ピッピッ（継続）」が止まり、すぐにブザー音「ピピーッ」が出ます。
約６秒以内にブザー音「ピロロロッ」または「ピピーッ」が出て配線セルフチェック完了です。

②初期設定（前ページ参照）を行ってください。

❗ 配線セルフチェックが完了しても不具合が改善されない場合はお問い合わせください。



CIRCUIT DESIGN, INC.